

## 第6回 YGN若手勉強会 「原子力安全と自治体行政：福井県の経験から」

来る2月9日、日本原子力学会若手連絡会(YGN)は、第6回若手勉強会「原子力安全と自治体行政：福井県の経験から」を開催いたします。

YGNは、2016年秋より、業務を超えた若手の自己研鑽の場としてYGN若手勉強会を開催しています。第6回となる今回は、福井県の原子力行政に長年にわたり携わってこられた来馬克美氏を迎え、自治体行政でのご経験をご講演いただくとともに、原子力安全への取り組みのあり方等について、議論を行います。

立地地域の行政職員の立場から、我が国における原子力利用に深く係わられてきた方の経験や考えに触れることのできる貴重な会ですので、是非奮ってご参加ください。

**【日 時】 2018年2月9日(金) 10:00-12:00**

**【場 所】 東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター 多目的室4**  
(東京都港区芝浦3-3-6) <http://www.cictokyo.jp/access.html>

**【講 師】 来馬克美氏 (福井工業大学 工学部原子力技術応用工学科 教授)**  
(略歴) 1972年 大阪大学工学部原子力工学科を卒業後、福井県初の原子力専門の技師として福井県庁へ入庁。以来、原子力安全対策課の職員として、福井県の原子力行政における中心的役割を果たす。1999年から2004年まで原子力安全対策課長。その後、企画幹としてエネルギー研究開発拠点化を担当。2009年に福井県庁を定年退職後は、財団法人若狭湾エネルギー研究センター専務理事、福井工業大学教授(現職)を歴任。

**【内 容】 来馬克美氏による講演および参加者との自由討論**

**【定 員】 30名程度**  
・原則として、原子力分野に従事する39歳以下の若手・学生が対象です。  
・日本原子力学会の会員以外の方も参加いただけます。  
・応募多数の場合は、先着順とさせていただきます。

**【参加費】 無料**  
**希望者を対象に、日本原子力学会より交通・宿泊費の一部を補助いたします。**  
(若干名。学生は実費の100%、その他は実費の50%を限度に、一人あたり最大2万円まで。ただし、所属組織からの交通費支給が困難な場合に限ります。)

**【申込方法】 2月7日(水)17時までに、タイトルを「第6回YGN若手勉強会参加申込み」とし、本文に(1)お名前 (2)ご所属 (3)メールアドレス (4)原子力学会会員区分(本会員/学生会員/非会員) (5)交通費補助希望有無 を記載の上、以下のあて先までメールでお申し込みください。**

[申込み・問合せ]

日本原子力学会若手連絡会 運営委員 後藤弘行

Email: [goto.hiroyuki@e3.kepco.co.jp](mailto:goto.hiroyuki@e3.kepco.co.jp) Tel:050-7104-1770

### ※ YGN若手勉強会開催実績

第1回「もんじゅを見つめ直す：Reconsidering "Monju"」(2016年10月28,29日)

第2回「次世代炉開発に向けて考慮すべきことは何か？」(2017年2月3,4日)

第3回「Innovation and the Future of Nuclear Energy」(2017年4月14日)

第4回「次世代小型モジュール炉：シンプルで安全、そして経済的な選択肢」(2017年10月5日)

第5回「安全神話とは何か。私たちは本当に安全神話に囚われていたのか。」(2017年11月17,18日)